



活動状況を報告する青年部会員
＝鹿児島市の公社ビルで

一丸となって不況克服

県建築士事務所協会川薩支部総会



全国大会参加などを決めた総会
＝川内市のホテル太陽パレスで

県建築士事務所協会川薩支部（今村裕支部長・(株)アシスト設計）は27日、川内市のホテル太陽パレスで15年度通常総会を開き、全国大会への参加や各種講習会の開催、川内建築4団体連絡協議会での活動などを盛り込んだ新年度事業計画等を原案通り可決した。

總會に先立って、当支部の発展に多大な功績を残し、先ほど逝去された故・鎌田典夫氏に黙とうを奉げた。

業として実施されるボランティア活動などへの協力、発注官庁への地元発注の陳情活動などを行っていくので、新年度の各

総会では冒頭、今村支部長が「公共、民間とも事業量が減少し、苦しい経営を余儀なくされている。研修・講習会を開催して一丸となつて不況を克服すると共に、川内建築4団体連絡協議会の事業も、ご協力をお願いします」と挨拶した後、本部の上原常務理事が「取り巻く環境は非常に厳しく、各位は生き残りを掛けた企業努力を続けておられると思うが、本部事業への協力もお願いし、力を合わせて発展さ

共通の社会貢献活動を

県建築関係団体青年部協議会協会
会初

県内の建築に關連する11団体の青年部が集まつて県建築関係団体青年部協議会協会を結成、その初会合は27日、鹿児島市の公社ビルで開かれ、会員の活動状況を報告すると共に、今後の取り組みや相互連携等について話し合つた。

協議会には参加団体の代表の三島浩幸県建築士会青年部長が「我々は互いにボランティア活動をしているにもかかわらず、一般には今ひとつ理解されていらない。同じ手に職を持つ職能団体としての協力を触発し、互いの活動内容に融発せ、共通した社会貢献活動ができる

す」と挨拶。
続いて、参加した11の団体が順次、青年部の活動と今後の取り組みを発表。このうち、建築士会は建築士の継続的能力開発と専攻建築士制度について紹介。また、高土工

工区割り発注を陳情

鹿兒島市交通安全施設工事業会総会

鹿兒島市交通安全施設
工事業会（牧清一郎会長）
は27日、鹿兒島市の中原
別荘で15年度総会を開き、

移り、高齢単身者世帯への奉仕活動における対象住宅の選定方法や、会員個々の参画意識の程度などについても話し合われた。

会員は次の通り。

県建築士会 県生コンクリート工業組合 県板金工業組合 県鷹土工業連合会 県室内装飾協同組合 鹿児島市管工事協同組合 県建設業協同組合連合会 県建具組合連合会 県板硝子商工協同組合 県農工業組合 県



一致団結を呼びかける吉留理事長
＝鹿屋市のホテルこばやしで

平成15年度 鹿児島市交通安全施設工事事業費



新年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市の中原別荘で

を引き続き、宮田修一氏（宮田建築設計事務所）を議長に選出しての議事を代読した。

では、14年度事業経過・収支決算報告、新年度事業計画・収支予算案などについて、すべて原案通り可決した。

鹿屋上下水道工事協組総会

再吉留理事選組合員優先指名を

鹿屋上下水道工事協同
組合（吉留良一理事長・
社）は27日、鹿屋市の
り承認した。役員改選で
は吉留理事長が再選され
た。

冒頭 県中小企業団体中央会から優良組合表彰を受けたことを披露した後、吉留理事長が「厳しい現状でも鹿屋串良水道企業団の第8次拡張工事に伴う管布設工事が昨年に併みに見込まれ、また市

道路反射鏡の清掃・点検の実施や役所への陳情活動などを柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、初めに牧会長が「業界を取り巻く環境は依然厳しい状況の中、発注件数も一昨年と比べる」といふ減少している。何とか営業活動を展開し、少しでも11、12年度頃の発注件数に近づけるように頑張っていたきたい。また、仕事の掘り起しに尽力し、役所に対し工区

に努めていきたい」と挨拶。

続いて、議長に牧会長を選出し、議事に入り、14年度事業・会計報告、15年度事業計画・予算案を慎重に審議し、全て原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、①道路反射鏡の清掃及び点検の実施②交通遺児募金の恒例化③役所への陳情活動など。

建設管理センターの
建設事業部、6月22日か
ら国土交通大臣認定資
格「造園施工管理技士」
の試験が行われ、また7
月26日から厚生労働
大臣認定資格「給排水
装置工事主任技術者」
の合格対策講座をそれぞ
れ開始する。会場はい
ずれも鹿児島市の県立
化センター。

造園管理技士講座

給水装置主任は7月26日から

ており6月5日まで。
書申請はすでに始ま
試験日は1級学科が9
月7日、実地が12月7
日。2級学科・実地が
9月21日。
給水装置工事主任技
術者講座は、水道工事
指定店事業者だけでな
く水道施設、上水道工
事等の土木関連業者の
受講も多いことから土
木・建築業者にも門戸
を広げて募集する。願
書申請は6月2日から
7月17日まで。試験日
は10月26日。

ことから、現場の実状を配慮した講座開設となり、参加者の評判も上々のようだ。なお願

結果、執行部原案通り決定承認した。また新規組合加入の承認もあり平成エネルギー工業(株)朝倉耕二代表取締役(南水信設備工業(明山)代表取締役)、有里建雄(中野孝二代表取締役)の3社が入会した。

新役員は次の通り。

理事長 吉留良一 (株)

吉留住設)▽専務理事
山本隆男(事務局長)▽
理事■肥田真八朗(三州
設備株)本白水千年(有
白水電器水道設備)栗昭
士郎(大隅設備株)児島
高春(株)児島設備工業
児玉芳貴(有)串良水道設
備)▽監事■富房建次
(有)ナンエイ設備)蔵屋
静男(有)札元電設)

日程は次の通り。

▽土砂災害防止月間オープニングセレモニー＝
6月6日、午前10時30分～（鹿児島市）

▽土砂災害・対策等のパネル展＝5月27日～6月3日（垂水フェリー待合所）、6月4日～同月9日（鹿児島市山形屋）、6月10日～同月16日（桜島フェリー待合所）、6月16日～同月20日（鹿児島市役所）